

議会だより

第104号

平成28年4月26日
(2016)

発行 山ノ内町議会
責任者 議長 小淵 茂 昭
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101 (有)2020
E-mail
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp

議会ホームページと
議会フェイスブックは
町ホームページからアクセス



もくじ

3月定例会関連記事	20
予算審査委員会報告	22
過疎地域自立促進計画審査特別委員会	24
一般質問	25
議会報告会	30
あれどうなった・移住定住推進室	31
議会全員協議会	32
みんなのひろば・編集後記	33

平成28年第1回定例会

第5次総合計画後期 基本計画初年度予算確定

移住定住推進室 28年度より発足



移住定住推進室は今後の起爆剤となるか

3月議会は2月29日から3月28日までの29日にわたって開催されました。28年度は第5次総合計画後期基本計画の初年度ということで、今後の町の行く末を占ううえで、重要な予算付けとなります。

また今回は、14にのぼる条例の制定・一部改正、8件の補正予算、8件の新年度予算、1件の人事案件、3件の陳情の他、予算審査特別委員会、過疎地域自立促進計画審査特別委員会を設置し、長丁場の議会となりました。

一般質問には10人が登壇し、産業振興、小学校統廃合問題、地域公共交通などを中心に行政全般について町政をただしました。

一般会計補正で

1億2,991万3千円増
総額で68億3,531万9千円に

27年度補正予算を可決

歳入については事業費や交付額の確定に伴う変更や、4,500万円の増額となるふるさと納税の大幅な伸びによる変更などが主です。歳出に関しては、事業実績および事業見込みによる変更、また、職員給与改定による補正などが主でした。

【一般会計について質疑】

【質問】 歳入で国からの補助金の補正があるが、国全体として1,700億円の財政支援、保険者支援による補正と理解しているが、これは27年度限りか。

【健康福祉課長】 今後続くものと見込んでいるが、何とも言えない。

【質問】 マイナンバーシステムの補正はセキュリティ対策か。国からの補助はないのか。

【総務課長】 セキュリティ強化の関係である。2,651万3,000円であるが、国からは605万円が入っているだけで、あとは自治体対応。

【質問】 ロングライド実行委員会の負担金、25年度、26年度は幾らくらいで、なぜ今回700万円なのか。

【観光商工課長】 これまで800万から900万の経費をかけた。今年はロングライドとヒルクライムを実施したい。全体として1,500万円の

【特別会計について質疑】

【質問】 国民健康保険特別会計について、歳入でまだこれから変動する不確定のものはあるか。

【健康福祉課長】 一番不確定部分は国民健康保険税。

【質問】 歳出で保険給付費が前年度に対して6,000万円以上多い当初予算のまま変わっていないが、歳出でまだ不確定な部分はないか。

【健康福祉課長】 給付費が3月、4月と2回分国保連の方から請求が来るまで分からない。インフルエンザが流行ついたり、また変動がありそうなので、給付費については当初のままいいじっていない。

【討論】 なし

【採決】 いずれも原案の通り可決

条例の制定・一部改正 と主な内容

条例の制定

行政不服審査会条例
全会一致で可決

条例の一部改正

- 一般職給与一部改正
- 特別職給与一部改正
- 議会議員の期末手当について一部改正
- 地方公務員法および地方独立行政法人法の一部改正に伴う改正
- 町人事行政運営等の状況の公表について一部改正
- 固定資産評価審査委員会について一部改正
- 手数料徴収について一部改正
- 組織条例一部改正
- 税条例等一部改正
- 消防団員等公務災害補償について一部改正
- 介護保険について一部改正
- いずれも全会一致で可決**
- 国民健康保険税条例の一部改正
- 小学校設置条例の一部改正
- いずれも賛成多数で可決**

一般職、特別職 の給与増へ

27年人事院勧告に基づき、給与に関する条例の一部改正が可決されました。基本給は平均0.4%増、期末手当は0.1か月の増となりました。また、特別職に関しては、期末手当が0.05か月の引上げとなりました。

28年4月より 移住定住推進室 が開設

第5次総合計画後期基本計画イノベーションプランおよびまち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少対策を喫緊の課題としており、一層の移住および定住の促進を図るため、総務課に移住定住推進室を設置するための組織条例が全会一致で可決しました。分掌事務は次の通りです。

○移住および定住の促進に関すること

- 空き家等の有効活用および情報発信に関すること
- 関係機関との連絡調整に関すること
- 前各号に係のある諸団体の育成指導および連絡調整に関すること

北小学校廃校へ

小学校設置条例の一部改正が賛成多数で可決しました。平成29年度から北小学校と西小学校を統合し、現在の西小学校校舎に2校を統合することを決定しました。

国民健康保険税 値上げへ

国民健康保険税条例の一部改正が、賛成多数で可決しました。背景としては、医療費が増える一方、被保険者数の減少により、保険税収入が減少しているため。28・29年度の国保税の不足見込額合計の8,000万円分の半分を値上げし、残りの半分は一般会計からの繰入れで確保することになりました。(これにより、国保税が改定となります。広報やまのうち11ページ参照)



平成29年度に廃校となる北小学校

国民健康保険税 条例一部改正

反対討論

渡辺 正男

27年度の12月までの保険給付費は対前年度1.3%の伸び。値上げ案は4%ずつ伸び続けることを前提としている。被保険者数が200人以上も減少していき、28年度からは診療報酬が1.03%減という情勢下では明らかに過大な歳出見込みだ。県下64位の医療費なのに保険税は8位と高く負担は限界。29年度からは国の保険者支援金が1,700億円増額されることも勘案すると値上げの必要はない。

小学校設置条例

反対討論

山本 良一

期日は決めたが、細部は「今後検討」でも決まっていけないという統合計画。校歌ひとつ決まっていけない段階だ。事前に十分審議し意見を整理したうえで統合に臨むべしと考えることから議案提案は時期尚早で反対だが、本日議案が可決された時は北小閉校が決まる日となるので一言述べたい。北小設立に努力された先人の皆様に感謝いたすと共に「北小学校」ありがとう、そして長い間ご苦様でした。

町選挙管理委員 および同補充員 の決定

平成28年3月28日、指名推選による議会選挙において、左記の選挙管理委員および同補充員が当選しました。

選挙管理委員

- 岩下 徳治 (湯田中)
- 望月 千弘 (薬師)
- 宮津 満安 (前坂)
- 野竹ふき子 (下須賀川)

同補充員

- 関 彦吉 (天川)
- 山崎 妙子 (土橋)
- 山口 賢治 (本郷)
- 高相 修一 (鎧堂)

任期 平成28年6月6日から
平成32年6月5日まで

平成28年度予算

一般会計

総額66億7,700万円

前年度比
3.7%増

「人口減少対策」と「地域産業活性化」に焦点

予算審査委員会報告

予算審査は3月7日予算審査特別委員会（全議員で構成、委員長 望月貞明、副委員長 高山祐一）に付託。8日から4日間、審査を行いました。3月28日の本会議で委員長より審査結果の報告後、反対・賛成の討論を経て採決を行いました。一般会計予算は賛成多数（反対2）で、また国保特別会計は賛成多数（反対2）、他の5特別会計予算と水道事業会計予算は全会一致で可決しました。

部会意見

一般会計

共通

○第5次総合計画後期基本計画の完全実施と数値目標を達成するように万全を期すこと。

総務費

○移住定住促進対策を確実に進め、実績の上がるようにつとめること。

民生費

○人権尊重社会の確立と、男女共同参画社会の実現に向けて、積極的に推進すること。

○障がい者にやさしい町づくりを推進すること。

衛生費

○ごみの分別・減量のための意識啓発につとめること。
○各種健（検）診の受診者増につとめ、健康づくりを推進すること。

農林水産業費

○就農支援策の強化と安定した農業経営支援を拡充すること。

○6次産業の育成と活性化につとめること。

商工費

○ユネスコエコパークの周知をはかり、産業振興につ

なげること。
○公衆トイレ・案内看板等の整備をさらに推進すること。

○観光情報提供システムの構築を推進すること。

土木費

○公民館・公会堂等の避難所耐震化対策を着実に実施すること。

○急傾斜地砂防対策事業をすみやかに進めること。

消防費

○地域防災情報システムは、受信者に配慮して進めること。

○地域防災力向上のため、自主防災組織の育成強化をはかること。

教育費

○教育振興基本計画については、教育委員会として課題・理念・目標を明確にしたうえで策定すること。

○スポーツ振興（推進）計画策定にあたっては、社会体育の拠点づくりと合わせ産業振興にも配慮した計画とすること。

特別会計等

国民健康保険（事業勘定）

○特定健康診査受診率向上のため努力すること。

○保険税の収納率向上につとめるとともに、会計の安定的な運営をはかること。

介護保険

○介護予防を充実させるとともに、利用者のニーズを把握し、適切なサービス提供に万全を期すこと。

公共下水道事業

○加入率・接続率の向上をはかり、特に補助を受けた合併浄化槽設置者には早期に接続を求めること。
○使用料および分担金の滞納解消につとめること。

農業集落排水事業

○接続率の向上をはかり、特に補助を受けた合併浄化槽設置者には早期に接続を求めること。

○使用料および分担金の滞納解消につとめること。

水道事業会計

○南部浄水場更新の事業執行には万全を期すこと。



社会体育の拠点づくりと産業振興にも配慮したスポーツ振興計画を

総括意見

予算審査特別委員会
委員長 望月貞明

国は地方の人口減少の対応に地方創生を掲げ、町に「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を求めた。町はこれらを第5次総合計画後期基本計画と関連して策定し、平成32年の人口目標を12,700人に設定した。この目標実現に向けた重点施策をイノベーション戦略プランとした。

後期基本計画の初年度となる平成28年度の山ノ内町一般会計歳入歳出予算は、66億7,700万円、昨年6月の補正予算後と比較して、3,710万円の増で、ほぼ前年並みとなっている。

〈歳入〉

町税は前年度比0.7%増の16億9,555万円、地方交付税は0.5%増の20億2,000万円、町債は、2.4%減の8億8,270万円を見込んでいる。

〈歳出〉

重点となる人口減対策のうち移住定住推進では、新規の若者定住促進マイホーム取得等補助金のほか、若者定住促進や移住定住の家賃補助金、空き家改修補助金、田舎暮らし体験などの事業がある。28年度に移住定住推進室の設置が予定され、移住・定住の成果に期待したい。

観光振興では、観光楽ちんカーサービス事業などの新規事業やJ-RIDCプレキャンペーンなどの宣伝で誘客増につなげたい。

商工振興では、空き店舗等活用事業補助金が、起業チャレンジ支援事業補助金とともに、移住・定住促進にも役立つ施策となっている。

農業振興では、そば急速冷凍機による6次産業化推進に注目したい。実績があるが、はるばる農業就農奨励金支給と農業機械等導入支援の事業は継続となっている。

教育では、スクールバス購入、統合小学校建設調査などがある。将来の小学校1校統合に向けては、十分な調査と検討を重ね、慎重に進められたい。

社会福祉では、27年度、配偶者対策事業で成果が出た。さらなる成果を期待したい。

子育て支援では、国の施策で多子世帯の保育料が軽減される。高校生通学定期券購入費補助金が新たに始まり、子育て支援が拡充される。

保健衛生では、新たに肺がんらせんCT検査および乳幼児健診に視能訓練士検査が導入される。検査精度の向上により、がんの早期発見には受診率向上が力ギとなってくる。

土木では、避難施設と大型宿泊施設の耐震診断補助は継続する。人が集まる施設は早急な耐震化が求められる。

消防では、軽積載ポンプ車の更新と防災無線デジタル化は防災力強化の必須事業である。

国保では、医療費が増加する一方で、被保険者の減少により国保税収入が不足している。不足分を国民健康保険特別会計基金で補てんしていたが、基金残高が減少したこと、28年度から保険料の応益分を値上げし、基金残高5,000万円を確保する内容となっている。

水道事業では、老朽化した南部浄水場の更新工事が施工される。懸案の安全な水の供給で住民の衛生環境の向上が期待される。

本予算には、移住・定住促進や産業振興など多くの新規事業が盛り込まれている。事業の開始に際しては、基本的な手順を踏みながら進める確実性が求められる。また、事業の進捗状況を見ながら、臨機応変に見直しを行い、完成度を高めることも必要になる。第5次総合計画後期基本計画の初年度に当たることから、イノベーション戦略プランを着実に推進し、各事業に成果が得られることを期待する。

飯山駅から山ノ内までは「観光楽ちんカーサービス」の利用を



賛成討論

高山 祐一

人口減少対策で、「若者定住促進マイホーム取得等補助金」を新設、さらに総務課内に「移住定住推進室」を設置し、一層の人口減対策の意欲が見られる。観光振興では、新規に「観光楽ちんカーサービス事業」で、新幹線飯山駅からの2次交通対策を講じた。農業振興では、「6次産業化推進」に急速冷凍機の購入などの手を打った。子育て支援では、観光と農業に従事する保護者のために、「休日保育料無料」の施策をとった。

国民健康保険

特別会計予算

反対討論

渡辺 正男

「国民健康保険条例の一部改正」についての反対討論で明らかにしたとおり、被保険者数減、診療報酬減の中で、保険給付費だけが4%も伸びるといふ過大な歳出見込みに基づき、保険税値上げを前提とした予算となっている。とても賛成はできない。

一般会計予算

反対討論

渡辺 正男

国費による選挙買収のためには、おぼろげな撒きとも揶揄される「臨時福祉交付金」には憤りを覚える。国民管理を担うマイナンバー関連費も個人情報漏えいの危険性を危惧する。住宅リフォーム制度の廃止は残念。再三の議会指摘にもかかわらず社会体育施設の整備には全く手が付けられていない。移住定住推進室新設、高校生通学定期券補助、結婚活動支援の拡充等は評価できるが、全体としては不十分。

過疎地域自立促進計画審査特別委員会報告

過疎地域自立促進計画は3月7日議員全員で構成する審査特別委員会（委員長 布施谷裕泉、副委員長 山本光俊）に付託。

審査にあたっては、2部会第1部会総務産業常任委員会、第2部会社会文教常任委員会ととし、14日から2日間、所管課の説明と資料の提出を求め、細部にわたり審査しました。3月28日の本会議で、委員長より審査結果の報告があり反対・賛成討論後、賛成11、反対2で可決しました。

部会の審査区分

過疎地域自立促進計画の策定について

合同部会（各部共通）

1 基本的な事項
事業計画（平成28年度～32年度） 過疎地域自立促進特別事業分

第1部会

（部会長 西 宗亮）

2 産業の振興
3 交通通信体系の整備
情報化および地域間交流の促進

4 生活環境整備のうち
生活環境整備のうち

【住宅環境】 【上・下
水道】 【公園・緑地】

【自然環境】 【景観】

【防災】

9 集落の整備のうち
【コミュニティ】 【町民参加】

10 その他、地域の自立促進に関し、必要な事項

第2部会

（部会長 渡辺正男）

4 生活環境整備のうち
生活

【環境・衛生】 【交通安全・地域安全】 【消費生活】

5 高齢者の保健及び福祉の向上及び増進

6 医療の確保
7 教育の振興

8 地域文化の振興等
9 集落の整備のうち

【人権の尊重】 【男女共同参画社会】

反対討論

渡辺 正男

本計画は、第5次総合計画後期基本計画を踏襲する内容。どちらにも共通して反対する理由は4点。①総合スポーツ施設建設の後退②介護利用料の低所得者負担軽減の廃止方針③住宅リフォーム助成事業の廃止④小学校の34年度1校統合整備方針。前回計画（22年度）に議会が全会一致でつけた付帯決議「社会体育館建設の要否・場所・規模・時期等の早期検討を」に当局はどう向き合ってきたのか。

賛成討論

山本 光俊

過疎地域自立促進計画は、過疎地域自立促進特別措置法に基づき昨年12月議会で議決した第5次総合計画後期基本計画を基に策定している。総合計画は町の最上位の計画であり、将来像や基本目標、平成32年度の将来人口目標を定めているが、後期計画ではその実現のための具体的な施策を示している。この内容に整合性を果たせ策定されていることから当該計画も可決すべきものと考えます。



過疎債を利用して改修した渋湯橋

みなさんからの 請願・陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷 仲間の会 代表 藤本久美子	採択 (意見書提出)
陳情第2号	最低制限価格の設定に関する陳情	一般社団法人長野県 建築士事務所協会 会長 池田修平 他1名	不採択
陳情第3号	未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	任意団体 Kids Voting Japan 代表 寒川友貴	不採択

小中学校統廃合計画をどう進めていくのか

渡辺 正男



〔質問〕 34年度に小学校1校統廃、中学校の敷地内に新校舎建設は決定なのか。

〔教育長〕 決定ではないが、方向としてはそうしたいと教育委員会では考えている。

〔質問〕 小中連携教育の進め方は。

〔教育長〕 学力問題検討委員会で、小中連携で学習目標を定めるなど部分的に研究を始めている。ESD推進とともに信州型コミュニティスクールとして地域関

係者とともに共通の課題として広く研究していきたい。
〔質問〕 統廃合小中学校の教育理念構想はどこで検討するか。
〔教育長〕 審議会等もあるが、中心としては、教育委員会と学校長で新たな学校、グラウンドデザイン、目標等を設定していくものと考えている。

〔質問〕 幅広いみなさんを含めた建設検討組織を一刻も早く立ち上げて十分に議論していく必要がある。

〔町長〕 28年度の基礎調査を踏まえ、さらに具体的に検討をしていきたい。

〔質問〕 建設検討組織の立ち上げ時期は。

〔教育長〕 29年度の基本設計に合わせて立ち上げたい。

〔質問〕 小学校と中学校で共有可能な部分は。

〔教育長〕 グラウンドや体育館等を想定しているが、基礎調査とともに公共施設等整備検討会議にも回りながら見きわめていきたい。

〔質問〕 基礎調査とは。具体的にどう進めるのか。

〔教育長〕 中学校敷地内に小中連携がしやすい小学校校舎を建てていくという総合教育会議の方針に基づいて、どんな困難点があるのか、どうしたらより充実した校舎が建つのかを調査する。



平成24年に開校した信濃町立信濃小中学校
(施設一体型小中一貫校)

スポーツ推進計画の策定と拠点となる体育施設の整備計画を

高田 佳久



中で、耐震化が終了した学校体育館を活用するのを含め、総合的に判断したい。
〔質問〕 公共施設等整備検討会議の開催は。

〔副町長〕 28年度に開催予定。

〔冬山観光案内事業〕 チェーン着装指導でのトラブルは。

〔観光商工課長〕 強制的な指導と受け止められ、引き返した事例が2件ある。

〔質問〕 凍結道路の安全対策として、注意喚起を促す看板の設置場所見直しと道路に溝を入れるグリーブング工法の検討を。

〔町長〕 安心・安全な観光地

〔教育長〕 28年度にスポーツ活動に関するアンケート調査、29年度に計画策定。
新たな社会体育館は、公共施設等整備検討会議を中心に後期基本計画期間内で具体的な検討を進めたい。
〔質問〕 新たな社会体育館の建設は、結論を出すべき時期と思うが。
〔町長〕 まだ、具体的な方向性が定まっていない。今後各学校の統廃が進んでいく



平成16年度より使用停止の社会体育館

を目指すよう努め、県・警察・志賀高原関係者の意見をいただき、建設事務所へ要請に行きたい。
〔建設水道課長〕 グループング工法に関して要請したい。

〔公衆トイレの整備〕 道の駅のトイレ増設は、重点道の駅となることで国の交付金を活用できるが、申請の考えは。

〔町長〕 立地状況を考慮した結果、重点道の駅への申請は考えていない。

〔質問〕 湯田中駅トイレの改修を。

〔町長〕 鉄道事業者と引き続き十分協議していく。

元気に登校笑顔で下校



山本良一

【質問】 教育長の長い経験の中で理想的な教育というものを何か考えているか。

【教育長】 学校教育だけに、鑑みれば、元気に登校笑顔で下校です。様々な喜びを味わいながら希望を持ち登校、そして下校。先生方も自分の仕事に誇りを持ち地域と一緒に、子供達のために汗水たらすというところが私は理想と思う。

【質問】 審議会の中では何ひとつ議論されていない。それでよろしいか。

【教育長】 審議会の中では場所については具体的に答申はしていない。**【質問】** 中学生にとって適正な環境かという審議はされたか。

【教育長】 審議会の中では場所については審議してないので論議はなかった。**【質問】** 中学生にとって決して良い環境にはならないと私は思うので中学生の意見も必要だと提案しておく。

さんが一番納得できるところは、小学校中学校が連携した教育を進めてもらいたいこと、中には小中一貫校にという意見があった。1校統合の場所も様々あった中で総合的に判断、教育委員会の方向性を総合教育会議で示し認められたものである。

【教育長】 4小学校統合というところから議論を進め、アンケート、教育委員会、審議会でも検討してきた。皆



北小 3 学期始業式

須賀川、上林、菅・角間線の廃止要請への対応は

児玉信治



乗客増を目指しているが…。

【質問】 長電バスからの要請後の協議の進捗状況は。

【総務課長】 長電バス側からは、これ以上赤字を負担することができないので、今のまま財政支援がなければ28年9月30日で3路線を廃止したい旨、要請があったが、地域公共交通の関係もあるため、近隣市町村と対策を協議している。

【質問】 現在、菅・角間線には、約560万円の補てんをしているが2路線が国・

県からの補助金が打ち切られた場合、町の補てん金額はどのくらいになるのか。

【総務課長】 須賀川線、上林線には、現在445万4千円。仮に国県補助が打ち切られた場合には327万6千円が追加になり2路線で773万円となる。

【総務課長】 現在の9月議会で、公共交通の対策に対しての検討・委託調査費の補

正予算が付いたので、業者と最終的な詰めをしている最中である。

【町長】 基本的には、住民生活を守っていきたく思っている。住民生活とスクラップアンドビルド、行政との費用対効果など、いろいろのことを総合的に判断しながら、また長野電鉄・近隣の中野市との関係もあるので、諸々を含めて公共交通機関の検討会議の中で方向性を定めていきたい。

【その他の質問】
○福祉対策について
○スポーツ施設の充実を
○教育大綱について

中学校統合の目標は



小林 克彦

図っていくが、保護者・PTAにおいても不安解消に向けて活動を開始している。支援をしていく。

質問 昭和39年山ノ内中学校は東西南北の4校、生徒数1,394人の大規模校となる統合をしたが目的はなにか。

教育長 4校充実策でなく1校統合を選択したのは合併による山ノ内町の発足を受けて、町の全生徒が同じ学び舎で一緒に学ぶ「一校一和」は教育目標とさえ言える、と初代校長が回想している。

質問 北小学校の空き施設については「地域の重要な拠点」と位置づけ、活用したいが施設整備・運営には住民意見を始め綿密な計画を立てなければならぬ。専従の人材が必要である。

町長 前向きに対応する方向で考えていく。

質問 母性特有のホルモンによる「産後うつ」について最近原因が科学的に説明されているが町の現状は。

健康福祉課長 保健師が訪問を行っている中では診断された方はいないが、パンフレット・訪問・面談などでフォローはしている。

その他の質問
 ○後期計画の達成について
 ○公共交通の確保について
 ○国道403の整備進捗は

質問 同感。合併前の一町二村が本場に一つの町「郷土は山ノ内町」という気持ちを育てることにあった事以外考えられないが。

教育長 自分も、さまざまな友、先生方と出合い勉強できたと思っている。

質問 北小学校が西小学校に統合されることで懸念されることがあるが。

教育長 学校間では交流を

質問 山ノ内町立山ノ内中学校 YAMANOUCHI JUNIOR HIGH SCHOOL

平成27年度山ノ内中卒業生は99人

人口減少に歯止めを

湯本 晴彦



質問 出生率が長野県の市町村で最下位だったというデータがあるが。

総務課長 数字を知り愕然とした。1・35という出生率を少しでも増やしていくことを考えていく。

質問 合計特殊出生率は一人の女性が一生に産む子供の数として捉えられているが、実は山ノ内は産む可能性のある人が少ないのではないか。

町長 人口ピラミッドでも

質問 出生率が長野県の市町村で最下位だったというデータがあるが。

総務課長 数字を知り愕然とした。1・35という出生率を少しでも増やしていくことを考えていく。

質問 合計特殊出生率は一人の女性が一生に産む子供の数として捉えられているが、実は山ノ内は産む可能性のある人が少ないのではないか。

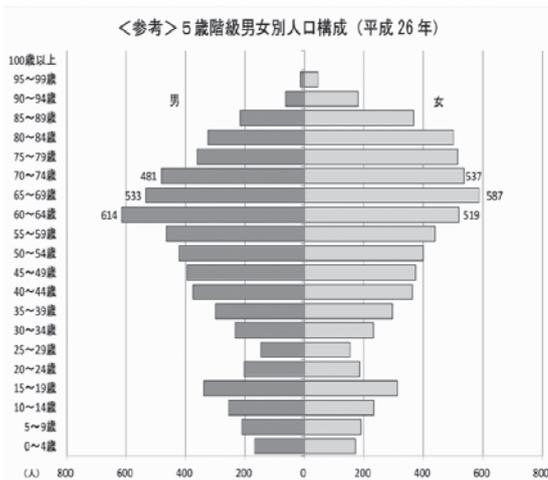
町長 人口ピラミッドでも

質問 出生率が長野県の市町村で最下位だったというデータがあるが。

総務課長 数字を知り愕然とした。1・35という出生率を少しでも増やしていくことを考えていく。

質問 合計特殊出生率は一人の女性が一生に産む子供の数として捉えられているが、実は山ノ内は産む可能性のある人が少ないのではないか。

町長 人口ピラミッドでも



資料：住民基本台帳

20代、30代のくびれが強い人口ピラミッド

白根山噴火を想定した対応策は

山本光俊



町長 4月より危機管理室に専門知識のある防災担当を1人配置し対応する。

質問 災害時外国人客への避難誘導などの対応は。

観光商工課長 観光案内所で避難誘導をおこなうとされているが確立されていない。観光連盟で避難方法などを記した案内パンフレットを作製している。誘導看板整備が急務である。

質問 白根山火口周辺で最近外国人が立ち入り記念写真を撮っていると報告があったが。

危機管理室長 そういう情報が入ってきていない。**質問** もし町内関係者が警戒レベルのを知りながら案内をしているとしたら、どう対応するべきか。

危機管理室長 関係機関との連携を密にし、適切な対応をしていく。

質問 軽井沢のバス事故が起きた。この教訓は、ルールを無視し、利己的な営業・経営活動を優先して安全・生命が損なわれたという事だと思いが。

町長 観光商工課でその事を十分留意するよう対応していきたい。

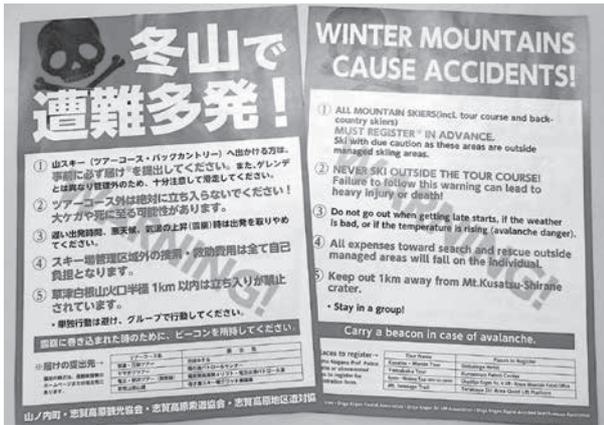
質問 当町を含む信越9市町村、いやま観光局がDMOを申請したが、町として観光関係者への説明をしていく。

町長 観光商工課でその事について十分に検討していく。

たか。**観光商工課長** 連絡していない。

質問 当町のDMO構想は、観光商工課長 他議員への説明の通り、観光連盟がDMO法人化を前提とし今後組織の強化を図った上で検討していく。

その他の質問 ○志賀高原ユネスコエコパークについて



お客様の安全のため、急ぎよ設置した案内看板と注意チラシ

有利な新電力の早期活用を

望月貞明



質問 町施設の新電力の見積りと従来料金の比較は。

総務課長 電力会社との直接見積りでは、庁舎のみで前年比41万円安くなる。プロバイダー経由では、回答した3社の中で最安値は手数料を差し引いて、庁舎で47万円減になる。

質問 扱ひ量が多いプロバイダーは、電力各社との交渉力があり、町の対象施設全部で年約350万円減の回答がある。早期活用を。

総務課長

平均10%減が期待できる。担当と十分協議し、早めに対応したい。

質問 南部バス旅行の貢献度は

質問 町は公共交通に、24年度の地域公共交通計画の策定、福祉乗物補助券の交付などを行っているが、どんな変化があるか。

総務課長 路線バスで乗客数が減少している。

質問 南部地区では、路線バスの存続運動として毎年バス4台の旅行を行っている。会社側はこれを考慮するとしている。会社との路線補助の会議で、旅行の貢献度を数値化して評価を。



新電力は現状の送電線網から受電できる

町長 路線バスは陸運局の認可が必要で、報告義務がある。貸切りバスの売上げを路線に加算することはルール上できない。むしろ、日常的な利用の対応を。

病児・病後児保育は

質問 核家族化や働く母親の増加などで、子どもが病気になる、親は仕事を休まざるを得ない。病児・病後児保育の要望があるが。

健康福祉課長 病児・病後児の保育施設には小児科医が必要で、通常は総合病院の敷地内か病棟を仕切り設置する。小児科医院がない当町への設置は難しい。

「山岳観光」世界水準の滞在型観光地をめざすには

布施谷 裕 泉



【質問】 県が進める山岳高原観光の重点支援地域に、信越9市町村の枠組みで当町も含まれる。そのことで求められていることは。

【観光商工課長】 飯山駅からの広域観光ということで、ワンストップサービスの提供と2次交通の充実。

【質問】 構想では、顧客満足度を重視している。当町における満足度をどう見ているのか。

【観光商工課長】 満足度として数値では把握していないが、ある程度の満足を得られていると考えている。

【質問】 町の総合戦略では、リピーターを増やすために必要なこととして、イベントの充実をあげているが、大手の調査ではランクが低い。旅行先を選ぶ決め手としているのが、観光スポットと宿。あらためて山ノ内版の満足度調査は必要と考えるが。

【観光商工課長】 外国人観光客が増えてきていることもあり、お客様アンケートの実施を予定しているので、含めて検討していきたい。

【質問】 単なる校舎利用で終わるのではなく、地域存続の中核となるような構想が必要では。

【質問】 単なる校舎利用で終わるのではなく、地域存続の中核となるような構想が必要では。

【町長】 地元の意向を十分尊重したい。

【質問】 拠点づくりには、なるべく多く地域の声を吸い上げることが必要。十分な時間と支援態勢が必要と考えるが。

【総務課長】 構想は28年度ゆつくり時間をかけて、ハードについては29年度以降。全課を通じて検討委員会を設置し、地元と連携していきたい。



お客様満足度調査（長野県版）

湯田中駅 公衆トイレの早期改修整備を望む

西 宗 亮



湯田中駅トイレの改修について

【質問】 町は湯田中駅のトイレをどのように位置付けているのか。

【観光商工課長】 通勤通学の方をはじめ、訪れるお客様のほか多くの方が利用されている公衆トイレとして位置付けている。

【質問】 公衆トイレであればもっと積極的に改修整備に取り組むべきではないか。



7年も前に町が全面改築した小布施駅公衆トイレ

【観光商工課長】 町と長野電鉄で共同管理をしていることから、従来どおり長野電鉄と十分協議して進めていきたい。

【質問】 過日、議員有志で長野電鉄と懇談し、トイレ改修についても要望した際、湯田中駅トイレ改修は急務であると認識されていた。

【町長】 誰もが必要と感じ、喫緊の課題と認識しているなら小布施駅公衆トイレやバリアフリー法も研究し、早急に取り組むべきと思うが。

【町長】 町内に公衆トイレは13ある。老朽化や利用度などを総合的に勘案しながら、

どこをどうするかなど公共施設検討委員会でも対応していきたい。

【質問】 防犯カメラは高齢化が進む中で認知症の方の徘徊による行方不明者の捜索にも大変有効。主要箇所への設置が必要ではないか。

【町長】 徘徊という新しい視点ではあるが、町は徘徊者を対し、サービスで発信器を勧めている。必要性や必要箇所など今後の課題であると思うが、早急にどこへ設置するかなどは明言できない。

第9回議会報告会を終了

テーマ「人口減少と持続可能な地域づくり」

小中学校の将来像を問う声

第9回議会報告会は、1月24日（日）の北部公民館を皮切りに、2月7日（日）の和合会館まで、町内5会場で開催しました。

報告会は、前半は議会からの報告、後半は質疑応答とテーマについての自由討議、という形式で行いました。

5会場合計で181人の皆様に足を運んでいただきました。様々な視点から数多くのご意見ご提言をいただくことができました。

ご協力いただいた各地区の関係各位ならびに参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。

5会場に181人の参加者

各会場での主な質疑・意見

1月24日 北部公民館

質問 何とか地域に学校を残したいと思っていたが、止むを得ない。教育委員会では、統合について当初1校になるとの説明だったが、議会ではどう判断しているのか。

回答 1月4日に小学校統廃合に関して議員間討議を実施した。29年度からの西・北小の統合には異論がなかった。34年度1校

統合には賛否が分かれ、なるべく早くといった意見や当面3校のままでもいいとの意見があった。

また、中学校敷地内への校舎建築や安全面についても議論を交わした。
(参加者33人)

1月30日

よませふれあいセンター

質問 移住定住は、高齢者ばかり来てもダメだと思う。出店したい人や何か事業をやりたい人

を支援する方が良いと思うが。

回答 次年度、町の魅力や移住定住の支援情報を掲載した移住ガイドブックを作製し、首都圏などで開催される移住相談、移住セミナーや移住PRイベントなどに参加する。また、起業支援事業や賑わいシヨップチャレンジ事業などの起業や空き店舗の活用に補助も行う。
(参加者54人)

2月3日

町文化センター

質問 人口が減少しても道路や下水道の維持費は変わらず負担は増える。できるだけ居住地区



1月13日よませふれあいセンター（西部会場）

第9回議会報告会参加者アンケート結果

		5会場合計	人数	率 (%)
性別	男		77	74.0
	女		4	3.8
年代	20代		1	1.0
	30代		6	5.8
	40代		6	5.8
	50代		18	17.3
	60代		53	51.0
	70代以上		17	16.3
参加した感想	委員会等報告	分かりやすい	21	20.2
		まあまあ	58	55.8
		難しい 分かりにくい	13	12.5
	テーマに対する自由討議	良かった	23	22.1
		まあまあ	50	48.1
		良くなかった	10	9.8
	全体を通して	良かった	31	29.8
		まあまあ	51	49.0
		良くなかった	3	2.9

をまとめて、維持管理費を削減するような町の方向付けも必要ではないか。

回答 人口が減れば当然町の力も減っていく。集中と選択は必要になってくる。

質問 稼働していない旅館・ホテルの固定資産税が算定され、実際には入ってこない状況で不利益はないか。全国の観光地にも多くあるので、国の補助金で解体することや算定基準から外す動きは組織的にできないか。

回答 志賀高原にも数軒廃業されているホテルがあり、地主も

2月6日

ほなみふれあいセンター

質問 若者定住対策の新婚むけアパートの家賃補助の金額と件数はどのくらいか。

回答 婚姻届の提出から3年以内で、世帯主もしくは主たる所得者が40歳以下の方が対象で、昨年度は20件423万円。また、



パワーポイントによる報告

今回、管内・管外視察報告については、初めてパワーポイントを活用した報告形式を導入しました。

これは、参加者の皆様により分かりやすく、現地の雰囲気も感じていただけるように改善した点です。

次回以降も、参加してよかったと言っていただけの議会報告会をめざし、さらに研究していきたいと思えます。

今回の報告会の詳細をまとめた「議会報告会結果報告書」については、各地区の関係団体や公民館でご覧ください。また、議会ホームページにも掲載しています。

常任委員会管内・管外視察報告に 初のパワーポイント活用

質問 小学校統合問題で小中一貫校についての考えは。

2月7日 和合会館

(参加者41人)

若者定住促進の住宅改修補助では、50万円以上の工事に補助率30%以内(上限が50万円)で、5件237万円の実績があった(当日の回答が不正確だったため、訂正して記載)。

回答 教育委員会の素案では、統合小学校を中学校の敷地に設置する考えだが、時期や敷地の問題もあり、今後研究していく。また、規模的にも一番参考になるのは24年度に統合している信濃町小中学校である。

意見 議会だよりを見ているが、町長・課長に質問して応答された意見に納得するような質問では困る。もっと追及していただきたい。

(参加者28人)

追跡!! あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情等その後のゆくえ

平成24年9月一般質問

問

移住・定住を進めるために、窓口を一本にした推進体制が必要ではないか。



その後

平成28年4月1日

組織条例の改正により

総務課内に **移住定住推進室**

が発足。

総務課長を室長とした

ワンストップ体制整う!!

専任職員も配置。



議会全員協議会

第2回 (1月13日)

町からの提出案件

- 国民健康保険税の税率改定
国民健康保険運営協議会の答申に基づき、一般会計からの繰り入れを行った上で、平均3.4%の値上げとなる。

議会からの提出案件

- 議会報告会資料確認
- 子ども議会申し入れ書

第3回 (1月29日)

町からの提出案件

- 第4次やまのうち男女共同参画プラン21の策定

県営かんがい排水事業(大沼池地区)

議会からの提出案件

- 議会の議員の期末手当に関する条例の一部改正

議会報告会(西部)の投書対応

- 中野市・小布施町・山ノ内町議会議員親善球技大会

(2月15日当町文化センターにて開催)

催)

- ゲーブルゲーム交流会の参加検討

第4回 (2月17日)

町からの提出案件

- まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

過疎地域自立促進計画

- 人事院勧告に伴う一般職及び特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正
- 庁内組織の改正
総務課内に課長を室長とする移住・定住推進室を設置する。

議会からの提出案件

- 議会報告会結果について

第5回 (2月28日)

町からの提出案件

- 財務書類
- 南部浄水場整備計画
- 教育大綱

教育行政を推進するための基本指針となるもので、第5次総合計画の「教育振興計画」と連動するもの。教育理念を明記すべきとの意見もあった。

いじめ防止基本方針

議会からの提出案件

- 議長諮問事項

- 議会報告会について

第6回 (3月4日)

議会からの提出案件

- 議会報告会結果

第7回 (3月22日)

町からの提出案件

- 観光交流ビジョンの策定
- 条例等の一部を改正する条例

議会からの提出案件

- 選挙管理委員および補充員の選挙

- 議会報告会結果報告書

- 議場一般質問席の改修

- 高山村議会との交流

議会活性化研修会 (4月13日)

講師：長野県町村議会議長会

宮寄係長

各議員から提出されている「議会活性化の提言」の検討

議会運営委員会(活性化)

第8回 (1月13日)

議会報告会

- * 報告会資料の確認
- * 報告書の提出期限の決定

第9回 (2月25日)

議長諮問事項

* 議長諮問に係る答申期限の延長依頼

* 議会活性化研修会の開催

議会報告会結果

* 結果報告書内容確認と質問・提言に対する検討の分担

第10回 (3月22日)

議会報告会

- * アンケート結果
- * 次年度への課題



「議会活性化の提言」具現化に向けて

みんなのひろば

沓野組湯ノ原地区には、「まちづくりの会」という、ボランティア組織があります。

今回は、その中心的な推進役である4名の方にお話を伺ってきました。



季節に4回の草刈り

すべては住みやすい湯ノ原のために

きっかけは何ですか

毎年役員が替わる現状では、暮らしやすい湯ノ原のまちづくりが困難との思いから平成22年度の各組組長3人が中心となり、2年間で20回以上の検討を重ねた上で発足しました。

目的は何ですか

安全で住みやすい湯ノ原に水害による死者を出した角間川を抱えながら、災害時に対処する自主防災組織が未設置であるとともに、ますます進む高齢化社会の対応に、自助・共助・公助を基本にした「まちづくりの会」が必要と感じました。

総合的なまちづくりをめざして

どんなことやっているの？

(1)災害時のためのネットワークづくり

自主防災組織を立ちあげ、防災訓練をおこなっています。

(2)高齢者世帯などの安否確認

手あげ方式による、支え合いマップの作成をしました。

(3)角間川堤防の美化事業

5月から8月まで草刈りを4回おこないます。堤防はいつもきれいですよ。そこで育てた花で花束を作り、独居のお年寄りに、プレゼントしました。とても喜ばれましたよ。



堤防で育てた花で花束作り

(4)いきがい健康福祉事業

講師をおよびして、年6回ふれあい教室・サロン、健康教室を開催しています。とにかく健康第一ですね。

(5)伝統行事への協力

特に今年は、御柱祭の年です。山車づくりに全面的に関わっています。

(6)文化祭等文化事業

今後、カラオケ・健康マイジャンなどで楽しみたいと思っていますが、まだ実現に至っていません。我々は何でも屋ですよ!!



31名の方にプレゼント

他の地区との違いは

1年で役員が交替する地区が多いなか、私たちは何年も続けますよ、あくまでも「ボランティア」ですから。会費をいただいているのも特異な点かな。

現在の会員数は?

67名の方が趣旨に賛同して、入会しています。会費は年500円で内300円はボランティア保険に当てています。

課題は何ですか

支えて欲しい人に比べ、支える人が少ないのが実情です。防災訓練を始めて3年になります。そろそろ実践訓練を始めたいですね。「白馬の奇跡」を基本に、災害時死者0をめざして近所付き合いを大切にして「近助」につなげていきたいですね。

最終的には、となり近所だよな。



会長の滝沢さん、副会長の高相さん、法華さん、岩本さん

○多彩な活動を通じて、地域貢献をしているみなさんの今後のご活躍を期待しています。

編集後記

宇木の里の「古代桜まつり」(16・17日)が無事終了した。今年は例年になく早い開花で、実行委員の一人として気をもむ日々が続いた。散り桜のなかでも桜好きの旅人たちで過去最高の賑わいとなった。リピーターが増えていることを実感でき、嬉しかった。「世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」(伊勢物語・在原業平)。意「この世の中に、まったく桜の花というものが無かったならば、春を迎える人の心は、穏やかでいられるだろうに」。本当にそう思う。この句に対してのツツコミの句がある。「散ればこそいとど桜はめでたけれ憂き世になにか久しかるべき」(伊勢物語・詠み人知らず)。意「散つてゆくからこそ、いつそう桜は素晴らしいのです。そもそも、この辛い世の中に、永遠に変わらないものなど何かあるでしょうか」。この句にも賛同。ちなみに在原業平は平安時代の人。宇木の千歳桜はその時代から咲き続けている。

(渡辺正男 記)